

成 田 市 教 育 委 員 会 会 議 議 事 録

令和7年4月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和7年4月22日

開会：午後3時30分

閉会：午後5時6分

会 場 成田市役所3階 第二応接室

教育長及び出席委員

教 育 長	日 暮 美智子
委 員 (教育長職務代理者)	高 山 勇
委 員	佐 藤 勲
委 員	片 岡 佳 苗
委 員	岡 本 秀 彦

出席職員

教育部長	松 島 真 弓
教育部参事	藤 崎 清
教育総務課長	高 仲 浩 一
学校施設課長	大須賀 一 夫
学務課長	井 上 功太郎
教育指導課長	西 崎 祐 一
生涯学習課長	神 崎 裕 一
生涯学習課副参事	瀬 尾 洋 子
生涯学習課係長	大 川 徳 晃
生涯学習課係長	松 崎 友 洋
学校給食センター所長	福 島 由 規
公民館長	菅 井 良 江
公民館係長	池 淵 聖 子
公民館主査	田 口 勝 也

図書館長	飯 田 幸 治
財政課長	平 野 優 仁
財政課課長補佐	安 西 勝 成
財政課係長	越 川 裕 介
教育総務課長補佐（書記）	森 一 朗

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 片岡委員、岡本委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○3月19日 令和6年度第2回文化財審議委員会について

今年度第2回目の本会議に7名の委員に出席をいただき、事務局からは、令和6年9月から7年2月までの埋蔵文化財の照会状況、発掘調査を報告しました。

赤荻の大エノキ、土室の観音像についても報告し、あわせて、今後策定する「文化財保存活用地域計画」について説明しました。策定にあたっては委員の皆様の協力をいただくことをお願いしました。

○3月28日 令和6年度末成田市教職員辞令伝達式について

北総地区の辞令交付式は、純退職者のみの参加で多古町コミュニティープラザ文化ホールで開催されました。昨年度役職定年し、引き続き学校職員として勤務した先生方の顔も拝見することができました。

本市の辞令伝達式は教育委員の皆様方にもご出席いただき、19名の退職者、8名の市内学校への昇任者、23名の新規採用者に辞令をお渡しすることができました。また、2名の役職定年者及び5名の市外学校への昇任者の名前を紹介しました。教育委員の皆様にもご出席いた

できましたので、お気づきの点がありましたら後ほどご意見をいただきたいと思います。

○4月8日・9日 成田市立小中義務教育学校入学式について

教育委員の皆様方、また、今回より教育部参事に、小中義務教育学校の入学式に参加していただきました。私は遠山中学校と加良部小学校の入学式に参加しました。遠山中学校の新入生は147名、4学級でのスタートでした。加良部小学校の新入生は56名、2学級のスタートでした。

加良部小は、控室で校長より新入生数や学校全体の児童数の推移等について、教頭より式の流れ等についての説明がありました。遠山中は、直に式場に行く形でした。

入学式は児童生徒が主体であるのはもちろんですが、地域の方に学校の様子を知っていただく良い機会と捉え、校長より控室等で話をする機会を持つのが得策と捉えております。来賓の方々にはご自身の時間を割いて出席してもらっていることを私共は再認識する必要があると思いました。

○4月14日 令和7年度施策説明会（校長部門）について

特例任用校長1名、新任校長6名、異動校長4名の紹介の後、市長部局 部長、教育委員会職員が自己紹介しました。その後の説明は、市長部局よりシティプロモーション部、市民生活部、こども未来部の説明、教育部の説明となりました。

市長部局部長より説明をいただき、学校と教育委員会では完結できないことには、市長部局と連携し取り組んでいくことの重要性を感じました。

○4月14日 令和7年度施策説明会（副校長・教頭、事務職員部門）について

新任副校長、教頭9名、市内異動教頭5名の紹介、事務職員新採用2名、市外からの異動4名、市内異動7名の事務職員の紹介の後、市長部局危機監理官、市長部局課長、教育委員会職員が自己紹介しました。その後、副校長・教頭部門と事務職員部門に分かれての説明会となりました。

市長部局からは、指定避難所の運営、スポーツに関する学校開催の事業、平和教育や中学生議会等の事業、地域防犯、児童虐待などの様々な説明があり、教育委員会各課からも事業や市配置職員等に係る詳細な説明がされました。

市議会

○3月21日 令和7年3月定例会について

補正予算の案件は1件ありましたが、それ以外の教育委員会の事務事業に関する議案はありませんでした。39議案すべて可決となりました。

その他

○3月21日 千葉ロッテマリーンズベースボールチャレンジ報告会について

6年度も小学校5校で4年生を対象としたベースボール型授業を行いました。この授業は、ロッテマリーンズのコーチを講師として迎え、「投げる」「捕る」「打つ」技能に関して指導を受けるプログラムで、毎年、計画的に実施しているものです。

この日は、千葉ロッテマリーンズ地域振興アカデミーグループ4名でお出でになり、実績報告をしてくださいました。

○3月25日 第43回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会について

3月22日から25日までの4日間、市内6球場で、全国各地で勝ち進んできた40チームが熱戦を繰り広げました。千葉県代表は、市立千葉高校、成田国際高校、千葉敬愛高校でした。

私は最終日の決勝戦を参観し、閉会式に参加しました。決勝戦は、兵庫県の神戸野田高校対福井県の啓新高校となり、啓新高校が勝利しました。全国各地からの選手とともに、全国各地からの役員の方々のご尽力により大会が運営されていることに敬意を表したいと思いました。

○3月26日 令和6年度行政改革推進本部・幹事会合同会議について

成田市行政改革推進計画(令和7年度～令和9年度)の策定に当たり、質の向上と量の向上の視点からの実施項目を中心に話し合いが行われました。

教育委員会関係では7つの実施項目が示されました。これまでの「学校施設のバリアフリー化の推進」「アレルギー対応の充実」「学校施設への太陽光発電の導入」「学校給食施設整備実施計画の推進」「学校給食費の滞納対策の推進」に、新規項目として「公民館のあり方の検討」「学校問題解決支援事業における人材の有効活用」が加わりました。

○3月27日 公益財団法人印旛郡市文化財センター第123回理事会・臨時評議員会について

議案として、「令和6年度事業計画の変更(案)及び収支補正予算(案)について」「令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)」が出され、審議されました。また、「代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について」が報告されました。

臨時評議会では、令和7年4月1日をもって、柏市がセンター組織に加入するにあたり、法人名称の変更、基本財産の増額等定款の一部変更が議案として示され、評議員4名すべての承認を得ました。

○3月27日 JICA海外協力隊派遣前市長表敬について

4月より1年9か月、ミクロネシアに派遣されるJICA海外協力隊員が市長を表敬訪問しました。

すでに国際看護師免許を習得し、ヤップ州唯一の入院施設を有する病院であるヤップ州立病院で現地の方々とともに働く中で、現地の看護師の能力向上に貢献していきたいとお話でした。

○3月27日 第13回成田スポーツフェスティバル第3回実行委員会について

議案として、令和6年度フェスティバルの事業報告及び収支決算、令和7年度の開催要綱案及び収支決算案の4案が審議されました。

令和6年度はスポーツ体験に加え、運動会形式が復活し、919名の参加があったことが報告され、7年度も同様の2部形式での開催について提案され、承認されました。

○3月27日 2024成田POPラン大会第3回実行委員会について

2024年大会の事業及び収支決算が報告され、2025年の大会開催日について提案され、委員から承認されました。

各種スポーツ協会、病院、企業等の大会運営協力20団体、509名の方々が運営にあたってくださったことをたいへん有難く思いました。

○3月28日 令和6年度末辞令交付式について

主催事業の辞令伝達式で触れましたので割愛します。

○3月31日 令和6年度成田市職員退任式について

市職員の退任者38名のうち22名の出席で、大会議室において厳粛に退任式が行われました。教育部は3名が出席、市長より辞令を受け取られました。

また、学校現場に戻られる8名の職員についても、部長、次長、各課長、図書館長、給食センター長、課長補佐の見守っていただく中で、お一人お一人に辞令をお渡しすることができま

した。

○4月1日 令和7年度新規採用職員入所式について

本年度の職員入所式があり、新規採用された行政職34名と消防士4名が出席しました。このうち教育委員会には生涯学習課学芸員1名と図書館司書1名が配置されました。お一人お一人の辞令本文が読み上げられた上で、市長や消防長より新規職員に渡されていることに、たいへん驚くとともに感銘を受けました。

○4月4日 印旛地区教育委員会連絡協議会令和7年度第1回定例常任委員会及び第1回印旛地区教育長会議について

印旛地区教育委員会連絡協議会の定期総会に向けて、資料の確認を含めて、令和6年度の行事報告並びに決算報告、そして、令和7年度の行事予定並びに予算案について審議しました。

その後の教育長会議では、北総教育事務所林次長より、「北総教育事務所の重点目標」「令和6年度末管理職人事異動の概要」についてお話をいただきました。校長については、ここ3年ほどは毎年15%から20%が役職定年を迎え、今年度末、印旛地区は151名中34名が校長職を退くことになるとのこと、新任教頭の年齢が若くなっていること、女性管理職は印旛地区で目標を達成し、2割を超えたことなど具体的な数字で教えていただきました。

○4月6日 令和7年度国際福祉医療大学成田キャンパス入学式について

国際福祉医療大学成田キャンパスの10回目の入学式に出席しました。今年度の入学生は795名で、うち留学生は39名でした。多くの来賓や保護者の方々が見守る中、晴れやかな式となりました。

3名の新入生が誓いのことばを立派に述べました。その1名ベトナムからの留学生は、自分が小さい頃に父親が病に伏し、医者の治療や励ましがあり、回復していく様子を間近にみて医師を志し、母国の医学部で勉強していた時に、国際福祉医療大学の奨学生のことを知り、志願したとのことでした。昨年10月より日本語の勉強をし、2月に来日し、まだ日も浅い中、日本語で、自分の決意を語っている姿を拝見し、大変心を打たれました。

○4月7日 J Aバンク食農教育応援事業による補助教材贈呈式について（J A成田市）

毎年J Aから寄贈していただいている副読本、「農業とわたしたちの暮らし」をいただくことになり、代表理事組合長をはじめ3名の方がいらして、贈呈式が行われました。子どもたちに

農業についての関心を深めてもらいたいという思いがしっかりと伝わってくる内容の副読本です。食育の観点からも、有効に活用していけるよう学校に伝えてまいりたいと思います。

立派なカラーの本で、先生方の指導書もついているのでぜひ活用して、これからの食について子どもたちと考えていってほしいと思います。

○4月8日 JAバンク食農教育応援事業による補助教材贈呈式について（JAかとり）

JA成田市と同様に、贈呈式が行われました。

○4月10日 令和7年度第9回千葉県立栄特別支援学校入学式について

今年度は、小学部14名、中学部9名、高等部23名の入学で、私は高等部の入学式に出席しました。

校長先生が「他人と比べることなく、自分自身のよさを見出し、ひたすら磨いてください。」と式辞の中で述べておられました。新入生の皆さんが一步一步進んでいってくれることを願います。

○4月12日 成田エアポート東雲パークゴルフ場オープニングセレモニーについて

東小跡地にできた新しい施設東雲パークゴルフ場のオープニングセレモニーに出席しました。成田国際空港を離発着する飛行機を間近に見ながらプレーでき、36ホールを有するパークゴルフ場で、当日は寒い中、多くのパークゴルフ愛好家もいらしていました。

何よりも、東小の校庭に壮大に咲き誇っていた遠山桜が、複合施設ラウンジ前で咲き誇り、かつての東小を懐かしく思い出しました。

○4月12日 成田市サッカー協会主催「第16回成田女子サッカーフェスティバル」について

成田市サッカー協会主催による本フェスティバルの開会式に参加しました。対象は、小学校6年生以下の女子で構成されるチームで、厚木や川越など近隣県から参加のチームもありました。成田市からは、LC成田とLC成田U-11が参加し、LC成田が見事準優勝しました。

○4月15日 令和7年度印旛地区教育委員会連絡協議会定期総会について

印旛地区7市2町の教育長及び教育委員が出席され、総会が開催されました。本市の教育委員の皆様にも出席いただきましたので、詳細につきましては割愛いたします。

今回の総会をもって、8名の方が新会員となり、また、歓送迎会において退任される方々が

就任中の思いを語ってくださいました。

○4月16日 成田市優良建設工事表彰式

令和6年度完成の工事事業から、株式会社ナリコーが「成田市学校給食センター建設工事（外構工事）」の実績を認められ、表彰を受けました。

今後、建築工事、電気設備工事や機械設備工事が進められ、来年度の9月より給食提供が開始される「給食センター本所」の基礎となる工事を担っていただきました。

○4月18日 令和7年度千葉県都市教育長協議会総会・研修会について

県内37市の教育長による協議会に、今回初めて出席しました。37市のうち、1年前の定期総会后、私を含めて13市の教育長が新たに就任していました。

議事としては、令和6年度事業報告・決算報告、令和7年度事業計画案・予算案及び役員案などが示され、すべて承認されました。

研修会では、県教育庁教育振興部のICT教育推進室長から「学校教育情報化の推進」について話をうかがいました。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：辞令伝達式ですが、今年は謝辞を大栄みらい学園と三里塚小学校の校長先生お2人でやられており、思いのこもったいい謝辞でありました。その中で新規採用の方々に向けて、教職の仕事は大変なところもあるけれども、それを超えた喜びがあるということを力強く仰っておいりました。

入学式では、4月8日の午前中は成田中学校、午後は玉造中学校に参加してまいりました。成田中学校は暗幕をしめて荘厳な雰囲気、厳粛な式であり、玉造中学校は明るい雰囲気の式でありました。成田中学校の入学式で感心したことは、校長先生が松葉杖をついていたのですが、その度に移動しながら一生懸命やられており、またお話しをするときは、時々原稿に目を落とすけれども、新入生を見つめて語りかけていました。誰もができることではないし、素敵だと感じました。玉造中学校の校長先生は、ステージの脇の高さ2m45cmの位置に白いテープを張り、また、カラーコーンとロ

ープで8m95cmの長さを作っておりました。白いテープの位置は走り高跳びでジャビエル・ソトマイヨール選手が記録した世界記録、カラーコーンの長さは、走り幅跳びでマイク・パウエル選手が記録した世界記録とのことでありました。人間はこんなすごいことができる、君たちは無限の可能性を秘めているよ、というような工夫された挨拶でありました。

また、玉造小学校の入学式は、壇上でなく、フロアに演壇を設けていて、すごく有難いことだと思いました。1年生と話すのに、壇上からだと高いところから見下ろすこととなり、威圧感がでてしまいます。市内の小学校でもフロアに演壇を設けるところが多くなっており、こどもたちの目の高さで話せるので、小学校の入学式はこういう形が良いのではないかと思います。

片岡委員：4月9日に中台小学校の入学式に出席しました。少人数ではありましたがアットホームな雰囲気、6年生がトンネルを持ってきていて、1年生が喜んで入ってくる姿がとても和やかで、1年生も落ち着いた様子で式に出ていました。6年生の最後の言葉も優しく1年生に大丈夫だよ、これから高学年のお兄さん・お姉さん達が優しく教えてくれるから、色々何か困ったことがあったら何でも言ってねというような挨拶で、とても良い式でありました。

岡本委員：4月9日に公津の杜中学校の入学式に出席しました。公津の杜中学校は、司会進行を学生がやっており良いと思いました。式典は完璧を目指してしまいましたが、学生がやってみて手作り感があつた方が良いのではないかと思います。式自体はスムーズで問題ありませんでした。学生がどんどん前に出た方が良いのではないかと思います。非常に良い入学式でありました。

高山委員：4月8日は吾妻中学校、9日は吾妻小学校の入学式に出席しました。吾妻中学校は新入生がしっかりしていて、誓いの言葉を述べた生徒は原稿を見ず、全てそらで素晴らしい誓いの言葉を述べており、迎える生徒も立派な態度でありました。翌日の吾妻

小学校は、新入生が1年生に思えないしっかりした態度で臨んでおり、素晴らしく感じました。

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号から議案第6号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により非公開により審議する。

《これより非公開》

議案第1号「令和7年度教科用図書印旛採択地区協議会委員の選出について」

《審議結果》

承 認

議案第2号「令和7年度教科用図書印旛採択地区協議会専門調査員会調査員の候補者推薦について」

《審議結果》

承 認

議案第3号「成田市学区審議会委員の委嘱について」

井上学務課長：人事異動により成田市学区審議会委員の10名のうち第1号委員2名、第4号委員2名の欠員が生じたため、成田市学区審議会設置条例第2条第2項の規定により、次のとおり委嘱するものです。

第1号委員の公立学校長につきまして、成田市立美郷台小学校大嶋浩校長、成

田市立下総みどり学園大徳正博校長を委員として委嘱することを提案します。なお、任期については同条例第3条の規定により、前任者の残任期間である令和7年6月30日までとなります。

次に、第4号委員の市長事務部局の職員につきましては、企画政策部篠塚岳史部長、市民生活部谷崎有美子部長を委員として委嘱することを提案します。同じく、任期については、前任者の残任期間である令和7年6月30日までとなります。

《議案第3号に対する質疑》

高山委員：学区審議会の主な議題、課題などがありますか。

井上学務課長：小規模になった学校の今後についてがよく問われるところです。また、開発が予定されている地区がある場合、学区をどのようにするのか、さらに、昨年度は部活動の地域移行に伴って、指定学校の変更等が議題として挙がりました。

日暮教育長：他には特にないようですので、議案第3号「成田市学区審議会委員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第4号「成田市心身障害児教育支援委員会委員の委嘱について」

西崎教育指導課長：本議案は、令和6年度末の人事異動により、退職あるいは異動となった3名の委員に代わり、成田市心身障害児教育支援委員会条例第3条第2項の規定により、3名の委員を新たに委嘱しようとするものです。

なお、前任の委員は、前成田市立三里塚小学校校長 村田 正志 委員、前成田市立大栄みらい学園校長の 阿部光雄委員、前栄特別支援学校校長の細川 雅彦委員です。

新たに委嘱する3名については、選出区分第2号の「小中学校及び義務教育学校の校長」として、吾妻小学校の本間洋校長と遠山中学校の藤井敏校長を、選出区分第4号に規定されている「識見を有する者」として、千葉県立栄特別支援学校の石井教仁校長にお願いしたいと考えています。

本間校長は、大網白里市、富里市、成田市の小学校で教諭として経験を積まれた後、5年間、成田市教育委員会に在職され、ふれあいる一むの指導主事として児童生徒の不登校支援にご尽力されました。続く令和2年に教頭として成田市立向台小学校に勤務、令和5年には千葉県子どもと親のサポートセンターで研究指導主事をされ、今年度、校長として成田市立吾妻小学校に着任されました。教育相談の幅広い見識をもとに保護者の気持ちに寄り添った適切な助言をいただけるものと思います。

藤井校長は、白井市、四街道市、成田市の中学校で教諭として経験を積まれた後、成田市立遠山中学校、西中学校に教頭として在職され、現在は校長として校内の生徒の就学指導にご尽力されております。関係諸機関との連絡調整や保護者からの相談対応など、特別支援教育に関する豊富な経験と知識を有しており、遠山地区の特別支援教育を中心となって推進されております。

石井校長は、君津特別支援学校を振り出しに、富里特別支援学校、千葉特別支援学校で教諭として勤務された後、障害者高等技術専門校に3年間勤務されました。続く令和3年から令和6年に教頭として、千葉県立生浜高校、印旛特別支援学校に勤務され、今年度、校長として栄特別支援学校に着任されました。多くの特別支援学校で特別支援教育に携わった経験だけでなく、障害のある方の進路・就労への識見や特別支援教育に関する豊富な経験と知識をお持ちです。それらを生かして、特別支援教育全般に渡る幅広い見地から、的確な助言をいただけるものと思います。

なお、3名の任期は前任者の残任期間となりますので、令和7年4月1日から令和8年9月30日までとなり、10月以降も再任可能であることを申し添えます。

《議案第4号に対する質疑》

岡本委員：退任者の任期が令和7年3月31日になっていますが、もともとは令和8年9月30日までの予定だったということでしょうか。

西崎教育指導課長：もともとの任期は令和8年9月30日でありましたが、退職により令和7年3月31日となったものであります。

片岡委員：3人とも退任したので、3人とも新しくなるということでしょうか。

西崎教育指導課長：そのとおりであります。本来10月1日からの任期でありますので、終わりは9月30日までとなります。なお、残任期間が新委員の任期となります。

片岡委員：今までやっていた方が皆いなくなりますが、引継ぎは大丈夫でしょうか。

西崎教育指導課長：指導主事等が説明をさせていただいておりますので、問題はありません。

日暮教育長：本来の任期は何年間でしょうか。

西崎教育指導課長：本来の任期は2年間であります。10月1日から翌翌年の9月30日までとなりますが、その間で退任となる方がいると、このような任期になります。

日暮教育長：その他、特になければ、議案第4号「成田市心身障害児教育支援委員会委員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第5号「成田市学校運営協議会委員の任命について」

神崎生涯学習課長：成田市学校運営協議会委員につきましては、成田市学校運営協議会の設置及び運営に関する規則第3条の規定により、地域と学校が組織的かつ継続的に連携・協働できる体制を構築し、地域の特性を生かした学校づくりや課題解決に向けた取り組みを進めるため、任命するものです。

資料1の「学校運営協議会委員の推薦状況」をご覧ください。

規則では、学校運営協議会の委員の定数を、各学校15名以内と規定しております。市内には、小学校19校、中学校8校、義務教育学校2校、合計29校あり、推薦人数は各校の状況に応じて違いはありますが、合計311名の推薦書が提出されました。

3. の任命年数につきましては、令和5年度から引き続き委員をお引き受けいただいた方が3年目、令和6年度から引き続き委員をお引き受けいただいた方が2年目となっております。なお、今年度は新たに81名の方に委員をお引き受けいただきました。

4. の複数の学校から推薦されている人数は9名となっており、同じ中学校区で兼任している状況です。

5. の推薦事由につきましては、資料2の「令和7年度 成田市学校運営協議会委員 一覧」からまとめております。

その中で、(1)「対象学校の所属する地域住民」が106名となっており、任命した合計人数311名の中で占める割合は、34%となります。

また、地域コーディネーターも学校支援地域本部設置校20校のうち19校で推薦されており、地域とともに育つコミュニティ・スクールの推進を目指して、地域の特性を生かした学校運営協議会と学校支援地域本部との一体的推進が期待されます。

《議案第5号に対する質疑》

片岡委員：地域コーディネーターがいない学校は、誰かが代わりの仕事をしているのでしょうか。

神崎生涯学習課長：地域コーディネーターが配置でされていない学校では、PTA活動の中で環境美化活動をしていただいたり、地域の方に講師役として入ってもらったり、各種体験教室を企画してもらったりなど、団体や個人レベルで協力をいただいているところです。

佐藤委員：複数学校から推薦を受けている方がおりますが、複数の学校の運営協議会の委員となるのではなく、その学校専属の方が良いのではないかと考えます。同じような教育にかかわることなので構わないと思いますが、一つの学校の教育に関し一生懸命取り組むというのがふさわしいのではと感じます。

神崎生涯学習課長：小中学校が同じ学区にある場合、兼任している方であれば小学校での課題が中学校の方でも地区の中の課題として共有できるので、課題解決に向けてメリットはあるのではないかと思います。兼任することは規則上問題はありませんので、今後も各校の状況や校長先生に話を聞く中でより良い委嘱となるよう取り組んでまいります。

佐藤委員：下総みどり学園だけが学校職員が委員に入っていないようですが、校長、教頭が入らずに諮問する形がいいのか、校長等を含めて委員になって一緒に話し合うのがいいのか、私は下総みどり学園の方式が良いのではないかと感じました。

神崎生涯学習課長：下総みどり学園に伺ったところ、学校側としては課題等を提案して、解決に向けて意見を言ってもらい、諮問するという立ち位置での人選とのことでした。他の学校に関しては、一緒に考えるという意味での協議体という考え

方の方です。なお、下総みどり学園は、提案側の立場であり、委員としては入らないが会議には参加している状況です。

佐藤委員：今後、学校職員が入るということは無いのでしょうか。

神崎生涯学習課長：任命基準に該当する方を各学校からの推薦に基づき、各学校15名以内で任命しておりますので、今回そういったお話があったことを校長先生にお話ししてみたいと思います。

岡本委員：学校職員は議決権が無しで参加するのは良いとは思いますが。学校職員の会議への参加が無い場合、実情が分からず議論にならないかもしれないので、参加してもらうのは良いと思います。

神崎生涯学習課長：学校運営の基本方針の承認ということで、学校は提案をしますので、教育課程の編成、教育目標及び学校経営の方針に関する事項の承認は、校長は議決権を持たないこととなっています。

高山委員：学校評議員制度から今の制度に変わりましたが効果などはいかがでしょう

神崎生涯学習課長：今年は3年目になりますが、地域の方と学校の先生方が一緒になって学校づくりをこれからどうしていこうか協議を行うことができおり、地域とともに歩む学校というものが始まってきたと感じています。学校評議員制度とはまた違った意見交換の場、地域と学校が意見を出し合う場となっておりますので、教育委員会としましても生涯学習課、学務課、教育指導課の3課でプロジェクトチームを作って、引き続き支援していきたいと考えております。

高山委員：より地域の方の意見を学校運営に活かすということになると思いますので、そのあ

たりも教育委員会としてバックアップしていただき、地域の意見を吸い上げる組織となるようよろしくお願いします。

日暮教育長：地域コーディネーターの存在がこの制度においては大きいと思います。学校評議員に比べ地域コーディネーターが間に入っていただくことで、この制度が上手くいっている学校もあるのではないかと考えています。

日暮教育長：その他、特になければ、議案第5号「成田市学校運営協議会委員の任命について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。
挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第6号「使用料・手数料の一体的な見直しに係る関係例規の改正について」

《審議結果》

可 決（令和7年6月24日 教育委員会会議定例会において取り下げ）

《非公開を解く》

（2）報告事項

報告第1号「成田市青少年相談員の委嘱について」

神崎生涯学習課長：本年3月31日をもちまして、第21期青少年相談員の任期が満了となりました。このことから、千葉県青少年相談員設置要綱第7条の規定に基づき、参考資料のとおり125名が、第22期千葉県青少年相談員として千葉県から委嘱を受けました。同要綱第11条では、「相談員がその地域にあって、市町村と緊密なる連携を保持しつつ行動を行うため、この相談員に対し市長村

長も委嘱するよう奨励する。」とされておりますことから、本市といたしましても、第22期成田市青少年相談員に委嘱したものです。

なお、青少年相談員は、統廃合した旧小学校も含めた、31学区ごとに活動し、任期は3年で令和10年3月31日までとなります。

青少年相談員選出の流れとしましては、委嘱が行われる前年度中に、各地域の区長・自治会長と第21期相談員との協議により選出された候補者を、市から千葉県に推薦して承認されます。

《報告第1号に対する質疑》

岡本委員：大栄みらい学園の学区には、旧学区の地区がありますが、この理由を教えてください。

神崎生涯学習課長：以前の県の要綱では、小学校区で5名という基準がありました。相談員は地域密着で活動されておりますことから、委嘱する際に、人数の割合が旧小学校区単位で引き継がれている状況にあります。便宜上学区としては旧を使っておりますが、実際に活動としては各地区単位として地域密着の青少年健全育成活動をしていただいております。

岡本委員：大栄みらい学園の学区は、全体から見ると多いような気がしますが、減らすような考えはありますか。

神崎生涯学習課長：成田市では、前回は134人委嘱されていましたが、今回9人減らして125人となっています。人数については、前年度から行う手続きの中で、適正な人数を聞き、調整をしており、地域の声を反映した人数としております。

佐藤委員：子どもの数に応じてある程度見直しをしないと、相談員を選出するのが大変

になってくる地区もあると思いますので、人口バランスに応じた定数を考えても良いのではないかと思います。

片岡委員：私の地元の相談員の方々は、現役の子どもたちがいない世代で構成されています。

次の人にバトンタッチをしようとしてもなかなか見つからないといった話も聞いております。このままでは、イベント行事が存続していけるのか心配な面もあります。

神崎生涯学習課長：相談員はボランティアとして3年間活動していただいております。相談員は協議会の行事以外にも行事以外にも地区の防犯パトロールなど地域の健全育成事業にも協力していただいております。なり手不足という課題は市としても承知しており、定数の問題も含め、全体の協議会の中で検討していただければと考えております。

6. その他

高仲教育総務課長：公益財団法人 印旛郡市文化財センターへの柏市加入に伴う本市への影響について、報告いたします。

公益財団法人印旛郡市文化財センターは、地域の文化財の調査研究及び文化財保護思想の普及啓発を図ることを目的に設置・運営されています。先ほど教育長報告において報告がございましたが、当該センターでは、柏市から大規模開発に伴う調査等への協力要請を受け、同市と協議を行った結果、同市の加盟と出資を受け入れることにより、令和7年4月1日をもって「公益財団法人 印旛・柏文化財センター」に変更することとなりました。

この変更に伴い、本市市長部局が所管する例規に関しまして、法人の名称変更に対応するため、「公益的法人等への職員の派遣等に関する規則」の改正を、また、柏市による出資に伴う本市の出資割合が4分の1から5分の1に低下することにより、地方公共団体の長の調査等の対象から外れることに対応す

るため、「成田市予算の執行に関する市長の調査等の対象となる法人を定める条例」の改正を行います。

なお、条例の改正につきましては、令和7年6月定例会への提案を予定しております。

以上をもちまして、印旛郡市文化財センターへの柏市加入に伴う本市への影響についての報告とさせていただきます。

7. 教育長閉会宣言